

総務委員会

●平成30年度袋井市一般会計補正予算(第1号)～地方創生「日本一健康文化都市」実現戦略推進費～

Q まちの国際化推進事業で企画する交流イベントについて、どういった効果があったのか。

A 外国人との接し方への心配や不安を解消し、ホームステイ受け入れにつながるステップになっている。また、参加した外国人から、「とても楽しい時間を過ごせた」などのコメントもあり、相互理解の取り組みとして効果は大きい。



異文化カフェに参加された皆さん

●平成30年度袋井市一般会計補正予算(第1号)～地方創生「稼ぐチカラ」向上戦略推進費～

Q Wi-Fi環境整備事業について、愛野駅に設置することで、どれくらいの範囲をカバーできるのか。また、愛野駅からエコパまでにおけるWi-Fi設備の設置位置を検討しているか。

A 愛野駅では、発信源から半径50mくらいに電波が飛ぶため、愛野駅前広場にいれば、Wi-Fiを利用することができる。愛野駅からエコパまでは、先日開催されたイベントで人の流れに合わせてWiFi機器を移動する実験も行った。こうした移動可能型か固定型かなどの方向性は定まっていないが、何らかの形で対応していきたい。

民生文教委員会

●平成30年度袋井市一般会計補正予算(第1号)～児童福祉費～

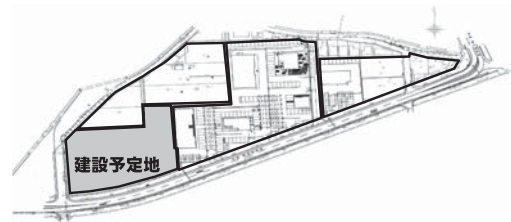
Q 子ども医療費助成制度の拡充について、現行制度では、未就学児は、入院・通院無料、小中学生は、通院は月4回まで500円、入院は無料となっている。平成30年10月診療分から、小中学生の助成内容をそのまま高校生年代まで拡充するとしており、県の制度より手厚いが、近隣市では入院・通院ともに無料の自治体もある。本市との助成内容の違いをどのように捉えているか。

A 医療費がかかるのは未就学児が多く、小中学生になると病院に行く回数はかなり減る状況である。仮に小中学生の通院月4回まで500円を無料とした場合、4,000万円ほどの経費がかかる。必要な時に必要な医療を受けていただくため、現在の助成内容をそのまま高校生年代まで延長することとした。

●平成30年度袋井市一般会計補正予算(第1号)～保育所費～

Q 袋井駅南地区に「ルンビニあゆみ園」が整備された場合、平成31年4月の待機児童数は何人になると見込んでいるのか。

A 定員120人の施設であり、0歳から2歳までは45人、3歳から5歳までは75人の受け入れをしていただく予定である。待機児童で最も多い年齢は1歳児であり、「ルンビニあゆみ園」の整備とあわせ、小規模保育施設への働きかけも行い、待機児童ゼロを目指して進めていきたい。



「ルンビニあゆみ園」建設予定地
(袋井駅南地区まちづくり事業メディカル地区)